

いつ来るか分からない、

## 出場のときに備えて

### 災害を防ぐため

災害はいつ発生するか分からない。いつ出場要請があっても、すぐに現場に駆けつけられるよう日頃から準備する、

救急救命士の日常業務の取材を行った。

胆振東部消防組合では、救急業務以外にも数多くの業務を行っています。

例えば、消火活動・救助活動の他に、車両および各種資器材の点検整備、町内にある消火栓・防火水槽等の維持管理。さらに現場活動を想定した訓練に取り組み、万が一の出動に備えています。

### 通報者との連携で

#### 命を救う

況やホームタンクからの油漏れ等の異常が無いか、住宅用火災警報器が設置されているかの確認を行っています。

「玄関先で高齢者が倒れている」との救急要請を受け出場したときの話です。

救急車が現場に到着すると、通報者が胸骨圧迫を行っていました。すぐに、通報者と胸骨圧迫を交替し救命処置を開始。救急車内に収容し、病院の手配を行っています。呼吸の回復と心臓の再鼓動を確認。回復兆候が見られ、容体観察を行いながら病院へ搬送したのです。

その後搬送された方は、しばらく入院し、他の病院へ転院したとのことでした。通報者にお話しを聞くと、「高齢者を迎えに行き、車に乗せよう

としたところ、急に意識を失い、呼吸をしていなかったのですね。すぐに胸骨圧迫を行った」とのことでした。いち早い通報といち早い胸骨圧迫の重要性を感じられる事例でした。

消防としては、毎年9月の救急の日に普通救命講習を行っており、今年も多くの方に参加していただきます。普通救命講習をより多くの町民の方々に受講していただき、更に継続して貰うことで、安平町内の救命率がさらに向上することに繋がって行きます。

### 救護者の

#### 元気な姿が原動力

救護者を搬送した後の経過は分からないのですが、そんな中、街中で搬送した人が生活をする姿を見かけたときや

搬送後に感謝の言葉をかけられたとき、ただただ良かったと安心するとともに嬉しく思います。そんな姿が見られることが隊員としての原動力でもあります。

### 消防団員の募集について

胆振東部消防組合安平消防団では、18歳以上の社会人を対象に消防団員の募集を行っています。

消防団としての活動は、消火活動の他に火災予防の広報活動、自然災害等による警戒・避難誘導などがあります。

興味のある方は、地域の消防団員または消防署（☎2074）までご連絡ください。

### 救急車の適正利用について

救急車をタクシー代わりに利用しようとするのが全国各地で問題になっていますが、安平町も例外ではありません。

安平町にある救急車は、安平支署・追分出張所に1台ずつの計2台。限られた資器材での運用のため、救急車の適正利用についてご理解・ご協力のほどよろしくお願いします。



救急車内で器具の点検する隊員。点検項目は数え切れないほどある。



気管挿管の訓練。呼吸停止の傷病者の命を繋ぐために不可欠だ。

また、災害発生時の対応だけでなく、火災を起こさないために、予防業務として一般家庭に行き、火気の取扱状



お話を伺った池田救急救命士